



将来は飼育員になることを夢見ている、動物の飼育を学ぶために播磨農業高校に入学しました。入学後、さらに長期にわたって動物の管理を学べるとあって、乳牛クラブに入りました。クラブに入って、乳牛のハンドリングができるようになったことは嬉しいですね。昨年11月、共進会に初参加し、リードを担当することもできました。共進会は、クラブ活動紹介の際に「牛の美人コンテスト」と聞いて興味津々だったので楽しかったです。(2年生、浅和 滯さん)



私は、乳牛クラブがあったから播磨農業高校への進学を決めました。中学生のとき、トライアルウィークで県内の牧場を訪れたことが、牛を学ぼうと思ったきっかけです。クラブではまず、牛に関する全般を学びたいです。また、まだ大会に出られていませんが、共進会でリードを担当できるように日々練習しています。将来はここで学んだことを活かし、動物関連の職に就こうと決めています。(2年生、頼金 幸太郎さん)



県内や全共などで数々の輝かしい成績を残す播磨農業高校。牛舎には歴戦を称える賞状やトロフィーが所狭しと飾られている。

酪農に憧れや興味を抱き、実践をとおして酪農を学ぶ学生達は今、何に興味を持ち、どのような活躍をしているのか？  
未来の酪農業界を担う期待の星を紹介！



3年生の引退によって、現在の部員数は4名。「さみしい」と口にする部員も。しかし山口先生の教えに従い、部員同士が仲良く、そして牛を愛する姿は「乳牛クラブ」の魅力である。新たに迎える新1年生から一人でも多くの部員が入部することを部員の皆さんは期待している。



部員にはまず、牛と接することを楽しみ、仲間と協力し合うことを望んでいます。クラブ活動を通じて、青春を謳歌してほしいですね。乳牛クラブは生命のことのほか働く力など、社会に出てから困らない環境を学べる良い場です。ときに厳しいことを伝えることもありますが、「なぜそう言われるのか？」を考える力を身に付け、それを実行してもらうことが、部員の将来に役立つと信じています。(山口 愛美先生)



入学後、友達に誘われて一度、乳牛クラブの見学に行きました。そのとき、先輩や牛の様子を見て、「これが私のやりたいことだ」と直感しました。クラブで興味があり、やりたいことは共進会への参加です。昨年11月にはリードも経験しました。今年は体型審査の農業クラブの活動があるので、そこに参加したいです。将来は牧場に就職したいです。あわよくば酪農家さんのお嫁さんになりたいです(笑)。(2年生、近藤 春華さん)

NO.4

### 兵庫県立播磨農業高校



#### 概要

兵庫県立播磨農業高校 乳牛クラブ  
部員4名  
フリーストール、4頭Wヘリンボーン式ミルクングパーラー(経産牛22頭、未経産牛25頭)  
活動内容：同好会時代から数えて約30年。全共への出場も数多い播磨農業高校の乳牛クラブ。その活動は、牛舎作業全般のほか、共進会に向けた調教や毛刈りにも精を出す。仲間と協調しあい、クラブ活動を通じて青春を謳歌することが大きな目的だ。  
担当教員：山口 愛美先生

学生牛部は今!